



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和4年4月28日
令和4年度 2号

幸運の花

副校長 宇田川 真

いよいよゴールデンウィークです。子供たちにとっての4月は、新しい学年・クラス・学校、そして先生との出会いがあり、少し緊張して、でも少しずつ打ち解けながら新しい友達が増えていった1か月だったようです。

みなさんは「シロツメクサ」という花を知っていますか？多摩川の河川敷にもたくさん咲いています。「シロツメクサ」と聞いて、すぐに思い浮かぶ人は少ないかも知れませんが、別名「クローバー」といえば誰もが知っているのではないのでしょうか。

江戸時代、オランダからガラス製品が贈られてきた際、製品に傷がつかないように詰め物としてクローバーが入れられていました。このことから「詰め草」と呼ばれるようになります。そして、その詰め草が白い花を咲かせるということより、「シロツメクサ」の呼び名になったと言われています。

小さい時に、四つ葉のクローバーを探して押し花にしたり、茎の長いクローバーの花を集めて花冠を作ったりと、そんな思い出のある方は少なくないでしょう。(残念ながら、私はほとんどしたことがないのですが…)「四つ葉の」クローバーは、出現率が1万分の1と非常に低いことや、4枚の葉脈が十字架に見えることから花言葉は『幸運』だそうです。また、4枚の葉、それぞれ1枚ずつに意味が込められていて、「希望」・「信仰」・「愛情」・「幸福」という四つの葉に意味があるのだそうです。

それでは、よく見かける「三つ葉の」クローバーの花言葉は何でしょうか？実は「三つ葉の」クローバーの花言葉も「四つ葉の」クローバーと似ていて『幸福・希望』なんだそうです。つまり、多くの人たちは、目の前にある『幸福』や『希望』を見過ごし、ちょっとしかないチャンス『幸運』を探し求めているように感じられます。

人は辛いことや忙しさに遭遇すると心の余裕が無くなります。心の余裕が無くなると周りのものに目を向けられなくなります。すると、近くにある「幸せ」に気付けなくなっていくます。私は、当たり前だと思っていることこそ、実は幸せなのではないかと思えます。そんなことは誰だってわかっているはずなのに、残念なことに、すぐに忘れてしまいます。その結果、失ったり取り返しがつかなくなったりしてから気付いたりするのです。

私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大から、改めて平凡な日常生活を過ごすことができることの幸せに気付かされたと思います。私たちの目の前には、たくさんの幸せがあって、私たちは幸せに包まれて生きているのではないのでしょうか。みなさんの目の前にある、学校生活における学習、友だちとの活動や会話できることへの感謝を忘れず、新しい学校生活をより楽しく生活できるようにしていきましょう。

